

内閣府だより

Cyber3 Conference Okinawa 2015

平成27年11月7日から8日にかけて、沖縄県で Cyber3 Conference Okinawa 2015 を開催しました。

島尻大臣も出席してオープニングスピーチやクロージングスピーチをしました。

会議では国内外から約400名の政府関係者や企業経営者、大学教授等の出席のもと、「サイバーコネクション」「サイバーセキュリティ」「サイバークライム」の3つのトラックでセッションが実施されました。

また、併せて、7日の夜には「クールジャパンディナー」を開催し、琉球舞踊が披露された他、泡盛や沖縄の食材等を使用した料理が振る舞われ、参加者に沖縄や日本の文化を紹介しました。



スピーチを行う島尻大臣



Cyber3 Conference Okinawa 2015の様子



クールジャパンディナーの様子

沖縄の子供の貧困に関する 内閣府・沖縄県・市町村の意見交換

12月1日、島尻大臣は沖縄県で沖縄の子供の貧困に関する内閣府・沖縄県・市町村の意見交換を行いました。

国、県、市町村が密接に連携して子供の貧困対策に取り組むことが重要であることから、浦崎沖縄県副知事や37名の市町村長などの参加のもと行われ、懇談の最後には参加者一同の賛同により、右のメッセージがとりまとめされました。



挨拶する島尻大臣



意見交換会の様子

沖縄の子供のために

(沖縄の子供の貧困対策のためのメッセージ)

—沖縄の子供の貧困に関する内閣府・沖縄県・市町村の意見交換での取りまとめ—

平成27年12月1日

私たち、沖縄の子供の貧困に関する内閣府・沖縄県・市町村の意見交換の参加者は、意見交換で得た共通の問題意識に立ち、沖縄の子供のために貧困対策を推進します。

○ 沖縄県の子供達を取り巻く環境は、一人当たりの県民所得が全国最下位であること、母子世帯の出現率が全国一位となっていることなど、全国と比較して深刻な状況です。

○ 沖縄県内では、子供の貧困に関する様々な行政の施策やNPO等の活動が行われてきましたが、依然として、貧困の中で子供達は課題を抱えています。国、県、市町村が連携して、子供の貧困対策を強力に推進する必要があります。

○ 市町村は、子供の貧困に関する多くの事業を実施する主体として、積極的に対策に取り組みます。

沖縄県は、「子どもの貧困対策推進計画」を策定し、総合的で柔軟な対策が講じられるようにします。

内閣府は、子供の貧困対策と沖縄振興を推進する立場から、関係省庁と連携し、市町村や沖縄県の取組を支援します。

○ 子供の貧困は、子供の生活と成長に様々な影響を与えるとともに、貧困の連鎖により沖縄の社会全体に影響を与えます。

経済界や教育界、このほか様々な立場から、県民の皆様に当事者として御協力いただくよう、切にお願いいたします。